

地域政策課から、10月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

## 富士見地区

### 9月27日 防災訓練

富士見地区まちづくり委員会の防災分科会では、分科会委員と自治会役員を対象に防災訓練を実施しました。当日は、分科会委員によるロープワークの講習・実践のあと、消防団による水消火器および担架の取り扱い訓練を行いました。訓練を通して、地域住民の皆様の防災に対する関心と意識が大きく高まりました。



## 大窪地区

### 9月28日 防災教室（資機材取扱）

大窪地区まちづくり実行委員会の防災分科会では、防災資機材の取り扱いに関する防災教室を開催しました。当日は男女含めて約50名が参加し、炊き出し器「まかないくん」・便袋・応急給水口の使い方について理解を深めたほか、防災倉庫の確認を実施し、参加者同士で意見交換を行いながら、防災意識の向上を図りました。



## 幸地区

### 10月6日 防災教室

幸地区まちづくり委員会の防災部会では、三の丸小学校4年生の社会科で防災教室を実施しました。災害を乗り越えるための自助・共助・公助の考え方や、自主防災組織の役割、学区周辺の特性や危険性について説明しました。また、東日本大震災の被災地支援を経験した委員からは、自分や大切な人の命を守るため、日頃から近隣住民との挨拶などを通じて、地域のつながりを大事にしてほしいとメッセージが送られました。



## 下府中地区

### 10月11日 防災講座

下府中まちづくり委員会の防災分科会では、分科会メンバーと各広域避難所運営委員を対象に、防災講演会を実施しました。内容は、「現役の救助隊員から学ぶ被災地の現状」とし、講師には小田原消防署警防第2課の高度救助隊職員をお招きしました。講演会後には、小田原市消防本部を実際に見学し、参加者の防災意識の向上を図ることができました。



## 桜井地区

### 10月17日 防災連絡会

桜井地区まちづくり委員会では、防災連絡会を開催し、いっせい防災訓練の実施内容の確認や防災に関する情報交換を行っています。桜井地区では、委員の負担軽減のため、広域避難所運営委員会と時間をずらして同日に開催しています。



## 万年地区

### 10月15日 サロンしおぎみ(ボッチャ)

万年地区まちづくり実行委員会の健康・福祉分科会では、9月と12月を除いて毎月、サロン会を開催しています。10月は城下町スポーツクラブの講師を招き、ボッチャを実施しました。

当日は、参加者が4チームに分かれてチーム対抗戦を行い、順位を競い合いました。皆でお喋りをしながら身体を動かし、地域住民の交流と健康増進につながりました。



## 二川地区

### 10月18日 防災講座

二川地区まちづくり推進委員会の防災分科会では、防災講座を開催しました。当日は防災部の津川専門監を講師に招き、南海トラフ巨大地震、二川地区の地震の危険性、命を守るための備え、地区防災計画等について説明を受けました。参加者からは、富士山噴火による影響や水道管の耐震化など幅広い分野の質疑があり、防災に関する意識の高さがうかがえました。



## 富水地区

### 10月18日 わいわいフェスタ

富水地区では、毎年10月に富水小学校で、「富水地区まちづくりワイワイフェスタ」を開催しており、今年も、3,500人を超える参加者が来場しました。

当日は、地域の各種団体により、屋内運動場での射的や輪投げなどの余興、中庭での焼き鳥や綿菓子などの食べ物販売、運動場でのミニ電車の乗車体験等のほか、じゃんけんぽん大会や抽選会など、大人数参加型の企画が行われ、会場は大いに盛り上がり、終始熱気に包まれていました。



富水地区

「8月23日 光る泥団子づくり」

富水地区まちづくり委員会子どもサポート分科会(子育て分野)



■ 子どもサポート分科会の紹介

近年、富水地区でも大半の地区子ども会、さらには連合子ども会が解散してしまい、クラブスポーツに所属していない子ども達の居場所が減ってしまっています。

そこで、子ども達向けに体験型のイベントを企画開催することを目的として、令和4年度にまちづくり委員会が地区内のPTA経験者を中心に声を掛け、子どもサポート分科会を設立し、活動を開始しました。これまで、光る泥団子づくりのほかにも、しめ縄飾り体験も開催してきています。

■ 「光る泥団子づくり」のねらい

○じっくりと時間をかけたものづくり

小学生に手指を使う楽しみ、喜びを実感できる創作活動を体験してもらえよう、令和4年度から3年間、光る泥団子づくりに取り組んでいます。

○体験格差の解消

小学生に夏休みの思い出になる日ごろ体験できないイベントが必要。

■ 参加者募集

○さくら連絡網とポスターで募集

7月14日、富水・報徳の両小学校から1~3年生とその保護者を対象に「さくら連絡網」の配信とQRコードを掲載したポスター掲示をしてもらい、WEB申込での参加者募集にしたところ、即日定員達成!

富水、報徳からちょうど半分ずつ計20組の申込がありました。



■ 申込状況

参加者内訳	1年生	2年生	3年生	合計
富水小学校	7	1	2	10
報徳小学校	3	5	2	10
合計	10	6	5	20



## ■ 当日の様子

8月23日(土)当日は熱中症対策のため冷房の効いた音楽室で開催しました。

当日参加は18人。学校、学年ごとにグループに分かれ、保護者とともに制作キットによる泥団子づくりにチャレンジしました。

分科会メンバーの講師からの説明を聞きながら約3時間かけて泥団子を仕上げていきました。



講師のレクチャー

## ※光る泥団子の作り方

①泥団子の芯をつくる



②さら粉をまわりにつける



③色粉をまわりにつける



④ピカピカに仕上げる



さら粉をかけてははらうの繰り返し



コロコロ転がすと光ってくるよ



光る泥団子完成！

## いただいた感想

児童から

- ・きれいにできて面白かった。
- ・楽しかった。またやりたい！
- ・帰ってから磨いたらピカピカに光った！

保護者から

- ・結構難しかったけど楽しかった。
- ・親も夢中になるほど楽しかった。
- ・なかなか自宅ではできないので良い経験になった。
- ・夏休みに学校でモノ作り体験ができて良かった。